



令和2年10月25日発行 No.19

巻頭言



新たな時代の近畿地方会のあるべき姿を模索して

日本小児歯科学会近畿地会会長 仲野 和彦

昨年の秋の地方会大会における総会で、令和2～3年度の近畿地方会会長にご指名いただきました。それから約1年が経ちますが、当時は予想だにしていなかった世の中に変貌してしまいました。会員の皆様方におかれましても、日々ご心労絶えないことかと推察しております。このような時には、「ピンチをチャンスに」ということが思い浮かびますが、ピンチが大きすぎてチャンスに変えていくのは一苦勞です。しかし、全く根拠はないのですが、知恵を絞って力を合わせることで、この難局を乗り越えていくことができると信じています。

私どもの診療室では、病院の方針として緊急事態宣言下では患者さんの受入れを最小限に絞りました。防護衣の備蓄が少なく、全ての患者さんを受入れることができなかつたからです。急性症状がある人にも投薬しかできないという時もあり、患者さんには大変申し訳なく、自分達はただただ悔しい思いでした。6月になって、試行錯誤を繰り返し、ポリ袋製の手作りの防護衣を運用するようことになりました。ポリ袋にいかにかサミを入れて防護衣にしていくのか、多くの人で知恵を絞ったと聞いています。手作りフェイスシールドも準備されました。その後は、全ての患者さんに処置を行うことができるようになりました。

今年度は一度も国際学会に参加していませんし、国内の出張さえも激減しました。一方で、ウェブ上での会議やセミナーへの参加の機会が増加しました。これまでに経験したことがないことでしたが、慣れてくるとかえって便利な面も実感しています。もちろん対面で会議をすることの重要性はあると思いますし、会議後のノコミュニケーションから生まれるアイデアもあるでしょう。ただ、ウェブ上でも様々なことができることが実感できました。オンライン飲み会も体験しましたが、予想以上にうまくコミュニケーションが取れました。

近畿地方会は、多くの先輩方の御尽力のもと、素晴らしい歴史を作り上げてきました。そして、来年は40周年を迎える記念すべき節目の年になります。その歴史を踏襲しつつ、新たな時代に向かってあるべき姿を考えるべき時期にきているのではないのでしょうか。世の中が激変したこのような状況下において会長を務めさせていただくことを運命として捉え、次の10年、そして20年を意識した新たな取り組みを考えていくことのできる土壌を整備していきたいと思っております。会員の皆様方には、お力添えの程どうぞよろしくお願い申し上げます。

大阪大学歯学部附属病院小児歯科「骨系統疾患歯科外来」の現状

大阪大学歯学部附属病院小児歯科

大川 玲奈

当科では、平成24年4月より「骨系統疾患歯科外来」を設けて、骨系統疾患を有する小児の歯科領域の問題に対応しています。骨と歯は発生学的に類似しているため、骨に問題のある人では歯にも問題があることが多くあります。本学医学部附属病院小児科の大藪恵一教授が多くの患者さんの治療を行なっているため、その受け皿として設置するに至りました。

骨系統疾患は希少疾患ではありますが、当外来では現在約100名の患者さんが受診されております。その内訳は図1に示していますように、骨形成不全症、低ホスファターゼ症、軟骨無形成症、X連鎖性低リン血症性くる病などです。骨形成不全症やX連鎖性低リン血症性くる病の患者さんでは象牙質形成不全が認められ容易に歯髄感染が生じるため、必要に応じてフルカバーの処置を行なっています。また、低ホスファターゼ症の患者さんではセメント質形成不全が認められ、乳歯の早期脱落が特徴的です。脱落部には必要に応じて義歯を作製し、残存歯は交換まで可及的に保存するための歯周治療を行います。軟骨無形成症の患者さんでは、中顔面の発育が良好でないため、矯正治療が必要になることが多いです。

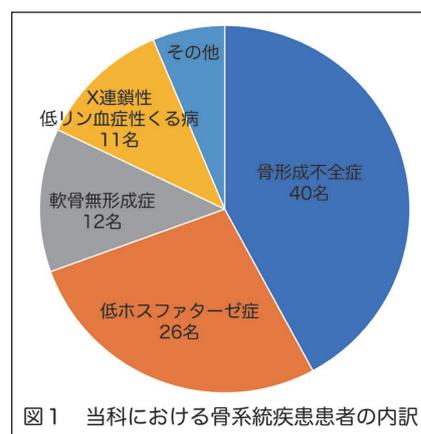


図1 当科における骨系統疾患患者の内訳

それぞれの疾患の患者さんは、小児科領域から紹介されることが多く、すでに診断がついていることがほとんどなのですが、低ホスファターゼ症の軽症型の患者さんに関しては、診断がつかないまま日常生活を送っている潜在症例が存在することが分かってきました。そこで、地域の歯科医師会などをお願いして乳幼児健診において、「乳歯の早期脱落」のチェック項目を設けるようお願いしてきました。平成27年からのこの活動によって、当外来には29名の疑い症例が紹介され、小児科医の診察を経て9名の患者さんが低ホスファターゼ症の診断に至っています。

多くの症例を経験して、低ホスファターゼ症に関しては、全身の骨に重度な影響のある重症型と歯に歯科症状がないような軽症型を分けて考える必要があるということが感じられました。そこで、全国調査をしてみますと、図2に示しますように、歯限局型が骨に症状を有する

	歯限局型 16症例	歯限局型以外 36症例
血清ALP値	やや低値 (正常下限値に近い値)	かなり低値
遺伝形式	常染色体顕性 (89%)	常染色体潜性 (96%)
乳歯早期脱落	100%	56%
エナメル質・象牙質の形成不全	なし	42%

図2 全国歯科実態調査における52症例

病型と全く異なった特徴を有することが明らかになってきました。小児歯科学の教科書には、低ホスファターゼ症の発生頻度は10～15万人に1人と記載されており、その特徴は「乳歯の早期脱落」と説明されています。しかし、前者は重症型の所見であり、後者は軽症型の所見になります。今後は、このようなことを啓発していく必要があると考えています。

私たち小児歯科医が関係するのは軽症型ですので、その特徴をよく理解しておく必要があります。遺伝形式も異なるため、軽症型の頻度自体も数百から数千人に1人ということになります。そうなりますと、私たちが日常臨床や日々の健診などで遭遇する可能性が十分あります。そのような症例に遭遇した際には、スクリーニングできるように、多くの歯科関係者に啓発していく必要があると考えています。最近になって、最初は歯にしか症状がなくても、成長とともに全身の骨にも症状が生じる症例があることも分かってきました。遺伝疾患であり、家族性に発生しますので、早期に診断をつけておくことは重要であると思えます。

低ホスファターゼ症をはじめ骨系統疾患に関連することは、当科の骨系統疾患歯科専門外来までお問い合わせいただければ幸いです。また、啓発のためのポスターや資材を、低ホスファターゼ症の根本治療薬を販売しているアレクシオンファーマ合同会社と共同で作成いたしましたので、ご使用いただければ幸いです。ポスターや資材に関しましては、下記の担当者までご請求いただければと思います。

お子さんにこんな歯の症状ありませんか?

☑ 4歳になる前に乳歯が抜けた、グラグラして抜けそう

☑ 抜けた歯の根が長い

その症状、低ホスファターゼ症(HPP)かもしれません。

HPPは、生まれつき体内のアルカリホスファターゼという酵素の働きが弱かったり、働きが弱くなるために、骨や歯を中心にさまざまな症状があらわれる病気です。HPPは、とてもまれな病気ではありますが、一般的な血液検査で診断ができ、必要に応じて歯や骨のアスを取り除くことが可能です。

あてはまる症状がありましたら、抜けた歯を持参し、近隣の小児歯科にご相談ください。

お問い合わせ先
HPP 専門
小児歯科

監修：小児歯科学会理事 小児科 大川 博貴 先生

ALEXION

乳歯が抜ける、グラグラするには早すぎると言われた方へ

監修：大阪大学大学院歯学研究所 小児歯科学教室 教授 仲野 和彦 先生

低ホスファターゼ症(HPP)という病気をご存知ですか?

HPPとは、骨の強さや成長にかかわる酵素「アルカリホスファターゼ(ALP)」の働きが弱いことで発症する病気です。骨や歯を中心にさまざまな症状があらわれます。なかでも4歳までに乳歯が抜ける「乳歯の早期脱落」はHPPの典型的な症状となります。

症状のできた

HPPでは、乳歯が通常より早くグラグラして、歯根(歯ぐきにうまっている歯の根っこ部分)と一緒に抜けることがあります。

通常の乳歯の生え変わり
通常、歯根は溶けてなくなり、歯冠だけが6歳ごろから抜け始める

HPPのこどもの乳歯
歯根を残したまま、4歳以下で抜けたりグラグラしたりする

HPP患者さんにもみられる乳歯の早期脱落(1歳7か月)

日本歯科医師会登録病名 歯根

上記はHPPにみられる症状の一部です。発現する症状の種類やあらわれかたは、一人ひとり異なります。

ALEXION

小児科の先生に相談しましょう

低ホスファターゼ症(HPP)の症状は歯の症状にとどまらず、進行する場合もあるので、できるだけ早く診断し、適切に管理することが大切です。HPPによくみられる「歯の症状」がありましたら、「その他の症状」をチェックして、小児科の先生に相談し、年齢に応じて変化する値に注意しながら、アルカリホスファターゼ(ALP)を確認してもらいましょう。

HPPによくみられる症状

歯の症状

4歳になる前に歯が抜けた 抜けた歯の根が長い

その他の症状

ハイハイや立ち上がり、歩き始めが遅い 骨が簡単に折れやすく、なおりにくい

補助なしでは歩けない 骨や筋肉、関節の痛みが続く

低身長・低体重 日常生活の動作が難しい(走る、階段の上り下り、物を持つ・運ぶなど)

骨が短い・曲がっている

HPPについて詳しく知りたい

HPP情報サイト <http://hpp-life.jp/>

HPPガイドでは、HPPの原因や症状、治療法などの情報を紹介しています。

アレクシオンファーマ合同会社
〒150-0213 東京都目黒区目黒5-18-14 恵比寿ファーストビル2F
HPP-010-2020
2020年8月現在

アレクシオンファーマ合同会社
代謝性疾患事業本部 西日本営業部
奥西 信明 部長
Email : Nobuaki.Okunishi@alexion.com

学会関連ニュース

令和3年度 地方会案内

- 北日本地方会大会：10月10日（日）岩手教育会館
- 関東地方会大会：10月17日（日）埼玉県
- 中部地方会大会：10月24日（日）名古屋コンベンションホール
- 近畿地方会大会：11月7日（日）京都リサーチパーク
- 中四国地方会大会：11月3日（水・祝）海峡メッセ下関
- 九州地方会大会：11月28日（日）長崎出島メッセ

第59回大会関係

- ・現地開催か WEB 開催か2021年1月末に最終決定の予定
- ・現地開催の場合2021年5月20日（木）21日（金）かごしま県民交流センター
- ・収容人数は各会場上限の50%制限を想定
- ・会場内におけるマスク着用、手指消毒の徹底、検温の実施
- ・大会懇親会、託児サービス、商社展示、公開講座は行わない

60周年記念大会関係

- ・大会：2022年5月19日（木）20日（金）幕張メッセ国際会議場
- ・記念式典、祝賀会：19日（木）17時～アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張

第58回大会（沖縄）報告

- ・WEB 開催 事前登録参加者：歯科医師942名、コデンタル143名
- ・WEB ポスター展示発表160演題

近畿地方会県別会員数（R2年10月現在）

	正会員	準会員	名誉会員	会員数合計	専門医指導医	専門医 (指導医を含む)	認定医	認定歯科衛生士
滋賀	33	6	0	39	1	11	2	2
京都	61	2	0	63	1	10	0	3
大阪	338	34	2	374	20	82	9	16
兵庫	164	22	2	188	4	47	3	4
奈良	33	7	0	40	0	6	2	2
和歌山	15	3	0	18	0	4	0	0
合計	644	74	4	722	26	160	16	27
全国	4513	419	36	4968	237	1173	84	132

第40回 日本小児歯科学会 近畿地方会および総会のご案内

第40回日本小児歯科学会近畿地方会および総会を下記の要項にて、京都府と滋賀県の合同により開催いたします。

第37回近畿地方会が台風のため中止、第39回近畿地方会が新型コロナの影響を受け中止と隔年の開催となりました。第40回大会と節目の大会でもあり、web開催等新しいことを視野に入れ、災害に強い大会の開催を行いたいと思いますので、学会員の皆様、スタッフの皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

大会日時：2021年11月7日（日）

場 所：京都リサーチパーク 4号館

〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93

JR 嵯峨野線（山陰線）丹波口駅下車 徒歩5分

内 容：特別講演・教育講演・認定衛生士セミナー・展示発表・商業展示・第40回記念事業（未定）

※ 詳細が決まり次第、後日お知らせいたします。

大 会 長：仲岡 佳彦

準備委員長：池本 博之

大会事務局：〒617-0824 京都府長岡京市天神5丁目16-1

なかおか小児歯科クリニック内

第40回近畿地方会大会事務局

E-Mail：pedo40chihoukai@gmail.com

TEL：075-951-0100

FAX：075-951-4810



地方会ホームページのアドレス変更のお知らせ

新アドレス

<http://jspd-kinki.umin.jp>

一部のお知らせをパスワードで保護していますが、パスワードは今まで通り「jspd-kinki」です。

旧アドレス（<http://square.umin.ac.jp/jspd>）のホームページは近日中に閉鎖する予定です。

第58回小児歯科学会大会は、新型コロナウイルス感染症の為、ウェブ開催となりました。来年春の第59回小児歯科学会は、鹿児島で開催されます。山崎要一大会長から、10月現在の予定されている大会概要をいただきました。秋の地方会も全て中止になりました。新型コロナウイルス感染症が克服され、鹿児島大会が素晴らしい大会になればと祈念しています。

第59回日本小児歯科学会大会 準備状況

大会長：山崎 要一

準備委員長：佐藤 秀夫

1. 開催方式：1) 現地開催、2) WEB 開催の2案を想定し、2021年1月末には開催方式を大会長が最終決定する
2. 会期：2021年5月20日（木）、21日（金）（現地開催の場合）
3. 会場：かごしま県民交流センター（〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号）
4. 大会内容
テーマ：新しい時代の小児歯科、維新の風は南から
 - 1) 会員集会
 - 2) 特別講演Ⅰ：西野精治教授（スタンフォード大学医学部）
 - 3) 特別講演Ⅱ：杉浦 剛教授
（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面疾患制御学分野）
 - 4) 会員講演：三浦一広氏（保護司、NPO 法人ゆずり葉の郷）
 - 5) シンポジウムⅠ：口腔機能発達不全症（仮）
田村文誉教授（日本歯科大学）、津賀一弘副学長・教授（広島大学）、
稲田絵美講師（鹿児島大学）
 - 6) シンポジウムⅡ：咬合誘導（仮）
 - 7) 一般演題（ポスター発表）
 - 8) 委員会企画
 - 9) ランチョンセミナー（富徳会）
 - 10) 大会前日：社員総会、各種会議、JSPP 総会
5. その他
 - *各種情報配信は大会 HP を通じて実施予定（11月頃開設予定）
 - *一般演題申込および抄録提出は2021年1月末とする
 - *現地開催を選択した場合の感染対策
 - 1) 会場収容者数は各会場上限の50%制限を想定
（現時点では25%：収容者数400名程度に制限されている）

- 2) 会場内におけるマスク着用、手指消毒の徹底、検温の実施
- 3) 大会懇親会、託児サービス、商社展示、公開講座は実施しない
- 4) 海外からの参加者については外務省の「新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の強化に係る措置」の記載内容に従う

大会事務局：第59回 日本小児歯科学会大会 事務局
 〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1
 鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 小児歯科学分野内
 TEL：099-275-6262

運営事務局：〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9 駒込 TS ビル 4 階
 一般財団法人 口腔保健協会内
 第59回日本小児歯科学会大会準備室
 TEL：03-3947-8761（代） e-mail：jspd59@kokuhoken.jp

	2020年5月19日（水）				2020年5月20日（木）					2020年5月21日（金）						
	A会場	B会場	C会場		A会場	B会場	C会場	D・E会場	F会場	A会場	B会場	C会場	D・E会場	F会場		
8:00					参加者受付（2フロビー）				ポスター貼付	参加者受付（2フロビー）				8:00		
9:00			JSPP理事会		開会式、会員集会 表彰式、写真撮影				ポスター 展示	受賞者講演				ポスター 展示	9:00	
10:00					特別講演 I 西野教授	委員会 企画1	委員会 企画2			会員講演 三浦一広氏	委員会 企画5	委員会 企画6			ポスター 展示	10:00
11:00																11:00
12:00		常務理事会					ランチョン セミナー 富徳会					ランチョン セミナー 予定			ポスター 討論	12:00
13:00															ポスター 展示	13:00
14:00	社員総会				特別講演 II 杉浦教授	委員会 企画3	委員会 企画4			シンポジウム II 咬合誘導	委員会 企画7	委員会 企画8			ポスター 展示	14:00
15:00															ポスター 撤去	15:00
16:00					シンポジウム I 口腔機能発達不全症					閉会式						16:00
17:00	JSPP 総会研究会									ポスター 討論						17:00
18:00																18:00
19:00															19:00	

A会場（2F県民ホール：300/600席）
 B会場（2F中ホール：75/150席）

C会場（2F大ホール：100/200席）
 D会場（3F大研修室1：50/100席）

E会場（3F大研修室2：50/100席）
 F会場（6Fギャラリー第1）



第38回 近畿地方会大会を終えて

大会長 佐々木秀和

第38回日本小児歯科学会近畿地方会大会が、令和元年10月6日（日）千里ライフサイエンスセンターにおいて、大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室の担当で開催されました。当日は歯科医師305名およびコ・デンタルスタッフ等112名のご参加をいただきました。現在、子どもを取り巻く環境は大きく変化し、遊びにおける空間、時間、仲間の減少による「遊びの質の低下」、集中することができないための「学力の低下」が懸念されています。「遊びの質の低下」は、子どもたちが身につけていくべき集中力の低下を引き起こし、「学力の低下」にも関連すると言われています。学力（学習する力）を身につけるには、まずは集中力が必要で、その集中力は遊びの中で熱中することにより身につくと考えられています。また我々が深く関係するところでは、う蝕、不正咬合、食生活などが関連する口腔環境の乱れは咀嚼機能に影響し、噛むという動作で活性化する脳への刺激が薄れて集中力低下につながるかもしれません。このようなことから小児期における診療科目の垣根を越えてさまざまな角度からの視点が必要で、「小児歯科における多角的アプローチを考察する」をテーマといたしました。特別講演には、大阪府教育委員長を務められ、百ます計算でも有名な陰山英男先生をお迎えし「常識を破って子どもを伸ばそう」と題して、学習における反復復習の重要性や、枠にとらわれない教育方法についてご講演いただきました。教育講演としてお招きいたしました島根大学医学部小児科教授の竹谷健先生からは「小児歯科医が知っておきたい小児科の最新トピックス」、大阪大学大



学院歯学研究科麻酔学教室教授の丹羽均先生には「小児歯科医が知っておきたい歯科麻酔の知識」と題してご講演いただき、小児歯科医が持つべき知識をご教示していただきました。また、歯科衛生士セミナーとしてお招きいたしました大阪大学大学院歯学研究科予防歯科学教室教授の天野敦雄先生に「できる衛生士になる！『育て・防ぎ・守る』ためのバイオロジー」、岡山大学病院小児歯科講師の仲周平先生に「意外と知らない小児の口腔疾患」と題してご講演いただきました。各講演とも熱心に聴講いただき、多くの参加者の皆様にとって今後の臨床への大きな糧となったことと思います。また、一般展示発表は32題の発表があり有意義な討論が交わされました。商業展示には19社の出展をいただきました。お昼の時間帯には、講演者の先生方をお招きし、大会会場において懇親会を行いました。本大会の開催にあたっては、日本小児歯科学会担当理事の先生方をはじめ多くの先生方にご協力いただきましたことに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。第40回日本小児歯科学会近畿地方会大会は、仲岡佳彦先生を大会長として、令和3年11月7日（日）に京都市リサーチパークで開催される予定です。多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。



日本小児歯科学会近畿地方会 2019年度収支計算書

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月 31日

科目	予算額	決算額	差異	執行率	備考
I. 収入の部					
会費収入					
入会金	0	0	0	0%	
会費収入	0	0	0	0%	
賛助会費収入	0	0	0	0%	
事業収入					
大会収入	2,100,000	3,564,902	1,464,902	170%	地方会大会収入合計（近畿地方会事務局準備金を含む）
広告収入	0	0	0	0%	雑誌、ホームページ、ニュースレター等の広告 ※地方会大会のプログラム等の広告は大会収入
寄付金収入					
寄付金収入	2,750,000	2,785,037	35,037	101%	本部からの補助金等（近畿地方会40周年記念事業の準備金1,880,000を含む）
雑収入					
受取利息	2	9	7	450%	
雑収入	0	0	0	0%	
当期収入合計(A)	4,850,002	6,349,948	1,499,946	131%	
前期繰越収支差額	0	0	0	0%	
収入合計(B)	4,850,002	6,349,948	1,499,946	131%	
II. 支出の部					
事業費					
会誌刊行費	200,000	164,160	- 35,840	82%	会誌・ニュースレター等
大会補助金	500,000	500,000	0	100%	地方会大会への補助金
大会事業費	2,100,000	3,373,343	1,273,343	161%	地方会大会支出合計
関連団体年会費	0	0	0	0%	
表彰費	0	0	0	0%	
什器備品減価償却額	0	0	0	0%	
管理費					
各種委員会費	0	0	0	0%	委員会関係の支出
本部会議費	60,000	42,781	- 17,219	71%	役員会開催費・出張費・慶弔費等
事務費	(本部会議費に含む)	432			印刷費・通信費・消耗品・雑費等
ホームページ運用費	0	0	0	0%	
雑費	0	0	0	0%	
特別支出					
寄付金支出	0	0	0	0%	
予備費					
予備費	110,002	0	- 110,002	0%	
当期支出合計(C)	2,970,002	4,080,716	1,110,714	137%	
当期収支差額(A)-(C)	1,880,000	2,269,232	389,232	121%	
次期繰越収支差額(B)-(C)	1,880,000	2,269,232	389,232	121%	

日本小児歯科学会近畿地方会 2020年度収支予算書

自 2020年 4月 1日
至 2021年 3月 31日

科目	予算額	備考
I. 収入の部		
会費収入		
入会金	0	
会費収入	0	過年度会費、本年度会費
賛助会費収入	0	
事業収入		
大会収入	3,000,000	地方会大会収入合計
広告収入	0	雑誌、ホームページ、ニュースレター等の広告 ※地方会大会のプログラム等の広告は大会収入
寄付金収入		
寄付金収入	900,000	本部からの補助金等
雑収入		
受取利息	10	
雑収入	0	
当期収入合計(A)	3,900,010	
前期繰越収支差額	1,880,000	40周年事業準備金として
収入合計(B)	5,780,010	
II. 支出の部		
事業費		
会誌刊行費	200,000	会誌・ニュースレター等
大会補助金	500,000	地方会大会への補助金
大会事業費	3,000,000	地方会大会支出合計
関連団体年会費	0	
表彰費	0	
什器備品減価償却額	0	
管理費		
各種委員会費	0	委員会関係の支出
本部会議費	60,000	役員会開催費・出張費・慶弔費等
事務費	0	印刷費・通信費・消耗品・雑費等
ホームページ運用費	0	
税理士手数料等	0	
特別支出		
寄付金支出	0	
予備費		
予備費	0	
当期支出合計(C)	3,760,000	
当期収支差額(A)-(C)	140,010	
次期繰越収支差額(B)-(C)	2,020,010	近畿地方会40周年記念事業の準備金1,880,000を含む

会計担当幹事

野村 良太

佐々木秀和

《日本小児歯科学会近畿地方会》

2020・2021年度役員名簿

会 長 (常任幹事)	仲野 和彦
副 会 長 (常任幹事)	春木 隆伸 ・ 原田 京子
常任幹事	有田 憲司
会 計	野村 良太 ・ 佐々木秀和
庶 務	岡本 篤剛 ・ 石井 信行
監 事	樂木 正実 ・ 池尾元三朗
顧 問	嘉ノ海龍三 ・ 梶本祐一郎
歯科衛生士会	永井るみこ
大 学	大川 玲奈 ・ 増田 勝彦 ・ 阿部 洋子 ・ 園本 美恵
滋 賀 県	池本 博之
京 都 府	石橋 淳 ・ 桑原 茂久 ・ 杉本 勘太 ・ 仲岡 佳彦
奈 良 県	中川 佳昭 ・ 林 昌司 ・ 松下 標
和歌山県	金尾 好章 ・ 田岡 郁敏
大 阪 府	浅田 匡彦 ・ 吾妻 昭夫 ・ 野々村榮二 ・ 大橋 健治 大西 智之 ・ 川口 護 ・ 榎原 康生 ・ 佐々木有美 新門 正広 ・ 副島 之彦 ・ 中原 弘美 ・ 松尾 博之
兵 庫 県	金澤 真亨 ・ 亀井有太郎 ・ 佐伯 克彦 ・ 坂田 滋 竹内 幸雄 ・ 徳永順一郎
名誉会員	祖父江鎮雄 ・ 大嶋 隆 ・ 嘉藤 幹夫

●編集後記

東京オリンピックに期待して幕を開けた2020年ですが、年明けからは COVID-19 の感染拡大で日常が一変してしまいました。そんな緊急事態宣言が発出された5月、外出自粛の巣籠り生活の中、近畿地方会ホームページを刷新することにしました。さすがに14年前に作成したホームページではスマホには対応できません(苦笑)今回新たに作成したホームページはレスポンスデザインを採用し、スマホでもPCでも見やすくなったと思います。もちろん素人の自作ですので、至らぬ点もありますが、サーバーのレンタル費を含めて「経費0円」のホームページを是非一度ご覧頂ければと思います。人と人との交流が難しい今こそホームページの果たす役割も大きく、有効に活用したいですね。(N・I)

近畿地方会ニューズレターも今回が第19号になりました。第2号から日昌印刷さんと二人三脚で企画、編集、発行して参りました。今回も、次回大会長の鹿児島大学の山崎教授をはじめ、突然の原稿依頼にもかかわらず快諾してくださった多くの先生方に感謝申し上げます。先日のメール幹事会でニューズレター編集委員会の設置が承認されました。第20号からは多くの先生方にご協力いただき、新たな目線でニューズレターをお届けできるよう、私も裏方でお手伝いしたいと思っておりますので、今後ともどうかご協力をお願い致します。(T・H)

今回、会報発行にお手伝い頂いた方々

山崎 要一・仲野 和彦・大川 玲奈・佐々木秀和
仲岡 佳彦・野村 良太・田辺健一郎・石井 信行
春木 隆伸 (敬称略)

《住所変更(会誌送付先の変更)方法》

新・旧住所を事務局あて書面(FAXもしくはE-mail)にて下記までご連絡下さい。

公益社団法人 口腔保健協会内 日本小児歯科学会(事務局)

FAX: 03 (3947) 8341

E-mail: gakkai38@kokuhoken.or.jp

日本小児歯科学会近畿地方会 HP

<http://jspd-kinki.umin.jp>

令和2年10月19日 印刷

令和2年10月25日 発行

発行者 公益社団法人 日本小児歯科学会近畿地方会
会報編集委員会

印刷所 日昌印刷(株)